

防 災 編

第1章 災害の発生状況

1 平成27年中の災害発生状況

(1) 人的被害

死者1人、重傷者3人、軽傷者6人

(2) 住家被害

一部破損42棟

第1表 平成27年中の災害発生状況

発生年月日 区分	災害名		強風	台風11号 7/17~18	落雷 8/5	台風15号 8/25	台風18号 9/8~9	大雨 10/1~2	強風 12/4	強風 12/11	計
	死者	負傷者									
人的被害	死者	1									1
	行方不明者										0
負傷者	重傷	1			1					1	3
	軽傷	4				2					6
住家被害	全壊										0
	半壊										0
被書	一部破損		42								42
	床上浸水										0
	床下浸水										0
非住家	公共建物		2								2
	その他		5								6
その他	流失・埋没	ha									0.0
	冠水	ha									0.0
の	流失・埋没	ha									0.0
	冠水	ha									0.0
	学校	箇所									0
	病院	箇所									0
	道路	箇所									0
	橋りょう	箇所									0
	河川	箇所		4							4

発生年月日 区分	災害名		大雪 1~3月	強風 1/11	台風11号 7/17~18	落雷 8/5	台風15号 8/25	台風18号 9/8~9	大雨 10/1~2	強風 12/4	強風 12/11	計
	発生年月日	災害名										
その他	港湾	箇所										0
	砂防	箇所			9							9
	清掃施設	箇所										0
	崖くずれ	箇所										0
	鉄道不通	箇所										0
	被害船舶	隻										0
	水道	戸										0
	電話	回線										0
	電気	戸										0
	ガス	戸										0
	建物	件										0
	危険物	件										0
その他	その他	件										0
	り災害世帯数	世帯										0
	り災害数	人										0
	公立文教施設	千円										0
	農林水産業施設	千円										0
	公共土木施設	千円	103,931		272,580			4,308	13,142	429,531		823,492
	その他の公共施設	千円			6,472		216					6,688
	小計	千円	103,931		279,052		216	4,308	13,142	429,531		830,180
	公共施設被害市町村数	団体	2		3		1	2	1	2		13
	その他被害	千円										28,917
	被害総額	千円	103,931		279,052		216	4,308	13,142	429,531		859,097
	都道府県設置											
災害対策本部解散												
災害対策本部設置市町村												0
災害救助法適用市町村												
消防職員出勤延人数	人											0
消防団員出勤延人数	人											0

2 過去5年間の災害発生状況（平成23年～27年）

年月日	種類	被害状況	気象状況
2011 (平23) 5.29～30	台風 2号	(1)住家被害 床上浸水 13棟 床下浸水 55棟 (2)非住家被害 公共建物 4棟 その他 2棟 (3)公共施設被害 723,655千円 (4)その他被害 51,705千円	本州南岸に停滞した梅雨前線と台風第2号から変わった低気圧の影響により、嶺南を中心に大雨となり、土砂災害や浸水による被害が発生した。 (日最大1時間降水量(30日)) 小浜34.5ミリ、大飯54.5ミリ (日降水量(30日)) 小浜 167.5ミリ、大飯 218.5ミリ
2011 (平23) 7.7	大雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 11棟 (2)公共施設被害 12,533千円	梅雨前線が北上。発達した雨雲は次第に東進、夜に北陸で激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(7日)) 福井20.5ミリ、勝山30.5ミリ (日降水量(7日)) 福井 80.5ミリ、勝山 149.5ミリ
2011 (平23) 8.19	大雨	(1)住家被害 床上浸水 2棟 床下浸水 57棟 (2)非住家被害 その他 8棟 (3)公共施設被害 14,793千円	前線がゆっくり南下。前線上の波動が東進、朝までは北陸西部で非常に激しい雨が降った。 (日最大1時間降水量(19日)) 福井44.5ミリ、勝山33.5ミリ (日降水量(19日)) 福井 84.5ミリ、勝山 57.0ミリ
2011 (平23) 9.3	台風 12号	(1)非住家被害 公共建物 1棟 (2)公共施設被害 198千円	台風第12号の影響により、大雨や強風となった。 (日最大1時間降水量(3日)) 小浜20.5ミリ (日降水量(3日)) 小浜 96.0ミリ
2011 (平23) 9.21	台風 15号	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)非住家被害 公共建物 3棟 (3)公共施設被害 12,928千円	本州付近に停滞した秋雨前線と台風第15号の北上に伴い、嶺南や嶺北北部を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(21日)) 福井19.0ミリ、小浜21.5ミリ (日降水量(21日)) 福井 94.5ミリ、小浜 122.5ミリ
2011 (平23) 12.25 ～ 2012 (平24) 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 4人 重傷 12人 軽傷 26人 (2)住家被害 一部破損 26棟 床下浸水 2棟 (3)非住家被害 その他 4棟 (4)その他被害 486千円	平成23年12月後半から平成24年2月初めにかけて、北日本から西日本にかけては低温となり、日本海側を中心に記録的な積雪となった。この期間、シベリア高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置が強まった。 (日降雪量最大) 福井 34センチ1月25日 敦賀 23センチ1月26日 (最深積雪最大値) 福井 61センチ2月4日 敦賀 58センチ2月3日 九頭竜 187センチ2月9日
2012 (平24) 4.3	強風	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 9人 (2)住家被害 一部破損 23棟 (3)非住家被害 公共建物 1棟 その他 3棟 (4)公共施設被害 9,653千円	前線を伴った低気圧が、日本海を急速に発達しながら東北東に進んだ。この低気圧に吹き込む南寄りの風が強まり、県内では暴風となった。 (日最大風速) 三国 25.8m/s(南南東)13時22分 敦賀 24.0m/s(南南東)12時06分 (日最大瞬間風速) 三国 35.3m/s(南南東)13時36分 敦賀 37.5m/s(南南東)12時04分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2012 (平24) 4.22	強風	(1)その他被害 6,450千円	前線を伴った低気圧が日本海西部を東進したため、南よりの強風となった。 (日最大瞬間風速(22日)) 福井 25.3m/s(南南東)07時50分 敦賀 28.2m/s(南東)09時05分
2012 (平24) 6.19~20	台風 4号	(1)公共施設被害 11,605千円	台風第4号から湿った空気が入り、梅雨前線の活動が活発となったため雨となり、ところにより大雨となった。 (日最大風速(19日)) 敦賀 12.6m/s(南南東)13時12分 (日降水量(19日)) 小浜 72.5mm、敦賀 64.0mm
2012 (平24) 7.20~21	大雨	(1)住家被害 半壊 2棟 一部破損 9棟 床上浸水 57棟 床下浸水 243棟 (2)非住家被害 その他 14棟 (3)公共施設被害 172,920千円 (4)その他被害 126,000千円 (5)災害対策本部設置市町 越前市	日本の南の太平洋高気圧から、暖かく湿った空気が西日本から北陸地方に流れ込み、また、上空の寒気を伴った気圧の谷の影響で、嶺北を中心に大雨となった。 (日最大1時間降水量(20、21日)) 今立 96.0mm、あわら 95.0mm (日降水量(20、21日)) 今立 189.0mm、あわら 182.0mm
2012 (平24) 8.13~14	大雨	(1)公共施設被害 9,383千円	前線が日本海を南下し、沿岸に停滞したため、大雨となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 小浜 47.0mm (日降水量(13日)) 小浜 65.5mm、大野 55.0mm
2012 (平24) 9.6	大雨	(1)住家被害 一部破損 1棟 床下浸水 139棟 (2)公共施設被害 5,652千円	前線が日本海を東に進み、前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(6日)) 福井 62.5mm、今庄 61.0mm (日降水量(6日)) 福井 133.5mm、春江 85.0mm
2012 (平24) 12.6	強風	(1)人的被害 重傷 1人 (2)公共施設被害 90,000千円	低気圧が発達しながら日本海を東に進んだため、暴風となった。 (日最大風速) 三国 12.8m/s(西南西)04時12分 越廼 13.6m/s(西)03時51分 (日最大瞬間風速) 三国 24.1m/s(西南西)04時22分 越廼 23.4m/s(西南西)04時47分
2013 (平25) 1.6 ~ 2013 (平25) 3.31	大雪	(1)人的被害 重傷 1人 軽傷 1人	天気は周期的に経過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置が続く雪や雨となりました。強い寒気の影響で1月の終わり頃には奥越を中心に大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 22センチ1月3日 敦賀 27センチ1月26日 (最深積雪最大値) 福井 30センチ1月28日 敦賀 41センチ1月26日 九頭竜 176センチ1月28日

年月日	種類	被害状況	気象状況
2013 (平25) 4.6	暴風	(1)住家被害 一部破損 1棟 (2)公共施設被害 219千円 (3)その他被害 1,330千円	日本海と日本の南岸をそれぞれ低気圧が急速に発達しながら北東に進んだ。 (日最大風速) 敦賀 21.1m/s(南南東)16時44分 (日最大瞬間風速) 敦賀 32.2m/s(南南東)16時59分
2013 (平25) 4.13	地震	(1)人的被害 重傷 1人	淡路島付近を震源とする地震 4月13日05時33分 M6.3 深さ15km 北緯 34度25.1分 東経 134度49.7分 震度3 小浜市、高浜町、おおい町
2013 (平25) 7.7	強風	(1)住家被害 一部破損 2棟	梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となり積乱雲が通過中であった。 (日最大風速) 福井 4.6m/s(南南東)21時46分 大野 6.4m/s(北)17時17分 (日最大瞬間風速) 福井 7.8m/s(西南西)16時46分 大野 15.9m/s(北西)17時11分
2013 (平25) 7.13	大雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 9棟	日本海から東北地方にのびる梅雨前線に、南から湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 福井 55.0mm (日降水量(13日)) 福井 69.0mm、勝山 82.0mm
2013 (平25) 7.29	大雨	(1)住家被害 床下浸水 2棟 (2)公共施設被害 162,120千円 (3)災害対策本部設置市町 越前市	日本海から北陸地方にのびる梅雨前線に、湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(29日)) 敦賀 27.5mm (日降水量(29日)) 福井 137.5mm、勝山 175.0mm
2013 (平25) 8.23	竜巻	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 半壊 3棟 一部破損 70棟 (3)公共施設被害 134千円	日本海の前線に向かって暖かく湿った気流が入り、大気の状態が非常に不安定となり、小浜では竜巻(F1)と推定される現象が発生した。 (日最大風速) 敦賀 9.8m/s(北)19時10分 小浜 8.7m/s(北西)16時33分 (日最大瞬間風速) 敦賀 13.3m/s(北)19時05分 小浜 17.5m/s(北北西)16時27分
2013 (平25) 8.24	大雨	(1)公共施設被害 29,290千円 (2)災害対策本部設置市町 越前市	本州付近に停滞する前線の影響で、曇り時々雨となり、嶺北の一部では大雨となった。 (日最大1時間降水量) 今庄 38.0mm (日降水量) 今庄 111.0mm

年月日	種類	被害状況	気象状況
2013 (平25) 8.31	大雨・ 強風	(1)住家被害 一部破損 2棟 (2)公共施設被害 1,216千円	台風第15号から変わった温帯低気圧からの びる寒冷前線が県内を通過した。 (日最大風速) 福井 10.0m/s(西南西)17時22分 勝山 15.4m/s(北西)17時41分 (日最大瞬間風速) 福井 19.9m/s(西北西)17時15分 勝山 29.5m/s(北西)17時34分
2013 (平25) 9.3	大雨	(1)住家被害 床上浸水 1棟 床下浸水 25棟	北陸地方に前線が停滞していた。前線に向 かって南から暖かく湿った空気が入ったた め、前線の活動が断続的に活発になった。 (日最大1時間降水量) 福井 47.0mm (日降水量) 福井 87.0mm
2013 (平25) 9.16	台風 18号	(1)人的被害 死者 1人 (2)住家被害 全壊 5棟 半壊 2棟 一部破損 13棟 床上浸水 78棟 床下浸水 320棟 (3)非住家被害 その他 19棟 (4)公共施設被害 2,906,000千円 (5)その他被害 75,815千円 (6)災害対策本部設置市町 敦賀市、小浜市、越前市、 美浜町、おおい町、若狭町	台風第18号が日本の南海上を北上してい た。台風の北側に広がる雨雲域が県嶺南を中 心にとどまった。 05:05に大雨特別警報を発表した。 (日最大1時間降水量) 敦賀25.0mm、小浜38.5mm (24時間降水量) 敦賀 215.0mm、小浜 384.0mm
2013 (平25) 10.15	台風 26号	(1)その他被害 31千円	台風第26号が本州の南海上を北上したた め、大雨となったところがあった。 (日最大風速) 三国 9.2m/s(北東)22時15分 (日最大瞬間風速) 三国 15.7m/s(北東)22時31分 (日最大1時間降水量) 九頭竜 16.5mm (日降水量) 九頭竜 60.0mm
2013 (平25) 11.25	強風	(1)人的被害 軽傷 1人	低気圧が発達しながら日本海中部を北東に 進み、低気圧の中心からのびる寒冷前線が25 日夕方頃通過した。 (日最大風速) 福井 16.1m/s(南南東)11時57分 三国 18.7m/s(南南東)08時59分 (日最大瞬間風速) 福井 23.9m/s(南南東)11時53分 敦賀 28.2m/s(南南東)07時47分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2013 (平25) 12.15 ~ 2014 (平26) 3.31	大雪	(1)人的被害 軽傷 1人	12月上旬の終わりころから短い周期で低気圧が通過し、その後冬型の気圧配置となり、1月中旬には強い寒気の影響で気温が低くなった。 (日降雪量最大) 福井 16センチ 2月8日 敦賀 15センチ 12月28日 九頭竜 35センチ 12月12日 大野 25センチ 2月8日 武生 25センチ 2月8日 今庄 33センチ 12月28日 小浜 18センチ 12月28日 (最深積雪最大値) 福井 17センチ 1月11日 敦賀 21センチ 12月29日 九頭竜 101センチ 2月16日 大野 32センチ 12月29日 武生 22センチ 2月8日 今庄 35センチ 12月29日 小浜 16センチ 12月29日
2014 (平26) 5.12	強風	(1)その他被害 その他 3件 (2)農産被害 1,660千円	日本の東に高気圧があって、一方、中国東北区に前線を伴った低気圧が北東に進んだため、日本付近は気圧の傾きが大きくなり、福井県では12日朝をピークに強風が吹いた。 (日最大風速) 敦賀 19.1m/s(南南東)07時58分 三国 17.7m/s(南南東)09時47分 (日最大瞬間風速) 敦賀 29.1m/s(南南東)07時51分 美浜 26.6m/s(南南東)21時14分
2014 (平26) 7.10	台風 8号	(1)その他被害 道路 1箇所 (2)公共土木施設被害 22,267千円	鹿児島県阿久根市付近に上陸した台風第8号が本州の南を東進した影響で、南から暖かく湿った空気が流れ込み、奥越中心に時々雨となった。 (日最大1時間降水量(10日)) 九頭竜 30.0 ^{mm} 、美浜 5.0 ^{mm} (日降水量(10日)) 九頭竜 79.5 ^{mm} 、美山 11.0 ^{mm} (日最大風速) 三国 11.8m/s(南南東)07時35分 敦賀 9.9 m/s(南東)15時50分 (日最大瞬間風速) 敦賀 17.3m/s(南南東)15時41分 三国 16.4 m/s(南南東)07時31分
2014 (平26) 7.17	大雨・ 強風・ 落雷	(1)非住家被害 その他 1棟 (2)電気被害 4,530戸 (3)その他公共施設被害 840千円	梅雨前線に向かって湿った空気が流れ込んだ影響で、大気の状態が不安定となった。 (日最大1時間降水量(17日)) 小浜 32.5 ^{mm} 、春江・美浜 14.0 ^{mm} (日降水量(17日)) 小浜 33.0 ^{mm} 、勝山 24.0 ^{mm} (日最大風速) 小浜 14.3m/s(-)14時07分 勝山 7.3m/s(北北西)14時27分 (日最大瞬間風速) 小浜 33.8m/s(-)14時02分 勝山 11.7m/s(北西)14時22分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2014 (平26) 7.20	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟 (2)その他 道路 2箇所 (3)その他 河川 5箇所 (4)電気被害 2,163戸 (5)農林水産業施設被害 16,864千円 (6)公共土木施設被害 197,796千円 (7)その他の公共施設被害 1,051千円	上空に寒気を伴った気圧の谷と湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。 (日最大1時間降水量(20日)) 三国 56.5 ^{mm} 、福井 52.5 ^{mm} (日降水量(20日)) 福井 77.5 ^{mm} 、勝山 71.0 ^{mm}
2014 (平26) 8.9	台風 11号	(1)人的被害 軽傷 1人 (2)住家被害 一部破損 1棟 (3)田 冠水 17.5ha (4)畑 冠水 22.1ha (5)その他 道路 5箇所 (6)その他 河川 10箇所 (7)その他 砂防 10箇所 (8)その他 崖くずれ 3箇所 (9)電気被害 30戸 (10)その他 その他被害 9箇所 (11)農林水産業施設被害 41,707千円 (12)公共土木施設被害 267,506千円 (13)その他の公共施設被害 8,603千円	台風第11号が四国の南海上を北上し、北陸地方の沿岸に停滞した前線に南からの暖かく湿った空気の影響で大雨となった。 (日最大1時間降水量(9日)) 大飯 18.0 ^{mm} 、越廼 11.5 ^{mm} (日降水量(9日)) 大飯 102.0 ^{mm} 、美浜 71.5 ^{mm} (日最大風速) 小浜 9.2m/s(東南東)18時52分 敦賀 8.1m/s(南南東)22時14分 (日最大瞬間風速) 小浜 18.8m/s(南東)23時59分 美浜 15.5m/s(東)22時09分
2014 (平26) 8.15	大雨	(1)住家被害 床下浸水 1棟	北陸地方に停滞する前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、雨で雷を伴い、大雨となった。 (日最大1時間降水量(15日)) 春江 33.5 ^{mm} 、越廼 30.5 ^{mm} (日降水量(15日)) 越廼 83.5 ^{mm} 、勝山 75.0 ^{mm}
2014 (平26) 8.26	大雨	(1)その他 砂防 2箇所 (2)その他の公共施設被害 2,062千円	前線を伴った低気圧が北陸地方を東進した影響で、雨時々曇りで嶺北を中心に雷を伴い大雨となった。 (日最大1時間降水量(26日)) 春江 33.5 ^{mm} 、三国 24.0 ^{mm} (日降水量(26日)) 春江 87.5 ^{mm} 、三国 67.0 ^{mm}
2014 (平26) 10.5	台風 18号	(1)電気被害 3,080千円	高気圧に覆われましたが、台風第18号が西日本太平洋側に北上したため、雨一時曇りとなった。 (日最大1時間降水量(5日)) 敦賀 6.0 ^{mm} 、武生 5.0 ^{mm} (日降水量(5日)) 九頭竜 9.5 ^{mm} 、武生 8.0 ^{mm} (日最大風速) 三国 7.6m/s(北東)19時37分 春江 5.4m/s(北)18時24分 (日最大瞬間風速) 三国 13.8m/s(北東)18時06分 春江 7.2m/s(北)18時23分 越廼 7.2m/s(東北東)19時11分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2014 (平26) 10.13	台風 19号	(1)その他被害 河川 1箇所 (2)その他被害 港湾 1箇所 (3)その他被害 砂防 1箇所 (4)公共土木施設被害 82,291千円	台風第19号は鹿児島県枕崎市付近に上陸し、その後、三重県津市付近を東北東に進み、勢力を維持したまま東海地方から関東地方北部へ速度を速めながら北東に進んだため、雨時々曇りで夜は大雨となった。 (日最大1時間降水量(13日)) 三国 23.5 ^{ミリ} 、越廼 22.0 ^{ミリ} (日降水量(13日)) 大飯 112.5 ^{ミリ} 、九頭竜 91.5 ^{ミリ} (日最大風速) 小浜 15.9m/s(北)22時16分 春江 14.7m/s(北)23時24分 (日最大瞬間風速) 小浜 26.4m/s(北北西)23時49分 福井 21.5m/s(北北西)23時02分
2014 (平26) 12.2	強風・ 波浪	(1)公共土木施設被害 2,616千円	日本付近は強い冬型の気圧配置となり、雨一時みぞれ又は雪で、雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大風速) 越廼 13.0m/s(西)00時31分 春江 11.9m/s(西)00時31分 (日最大瞬間風速) 三国 23.0m/s(西北西)05時36分 越廼 21.7m/s(西)09時39分
2014 (平26) 12.3	竜巻	(1)その他被害 その他 2箇所	強い冬型の気圧配置となり、上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となり、坂井市では竜巻(F0)と推定される現象が発生した。 (日最大風速) 福井 8.1m/s(南西)06時20分 三国 10.3m/s(西南西)01時10分 (日最大瞬間風速) 福井 14.0m/s(南南西)06時13分 三国 23.1m/s(西南西)01時02分
2014 (平26) 12.5	強風・ 波浪	(1)住家被害 一部破損 1棟 (2)その他被害 その他 2箇所 (3)公共土木施設被害 215,500千円	上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、冬型の気圧配置が強まり大気の状態が不安定となった。 (日最大風速) 越廼 11.6m/s(西)07時01分 敦賀 11.4m/s(西)16時20分 (日最大瞬間風速) 三国 20.7m/s(西)10時52分 越廼 20.2m/s(西南西)06時07分

年月日	種類	被害状況	気象状況
2014 (平26) 12.7 ~ 2015 (平27) 3.31	大雪	(1)人的被害 死者 1人 重傷 3人 軽傷 4人 (2)非住家被害 その他 1棟 (3)公共土木施設被害 103,931千円	12月は冬型の気圧配置や寒気を伴った気圧の谷の影響で、雪や雨の日が多く、気温はかなり低くなった。1月、2月は上旬に冬型の気圧配置が強まり大雪となった。 (日降雪量最大) 福井 32センチ1月1日 敦賀 34センチ2月9日 九頭竜 65センチ12月22日 大野 42センチ12月22日 武生 33センチ1月2日 今庄 51センチ1月1日 小浜 38センチ1月1日 (最深積雪最大値) 福井 56センチ1月2日 敦賀 64センチ2月10日 九頭竜 227センチ2月14日 大野 115センチ1月3日 武生 50センチ1月3日 今庄 113センチ1月3日 小浜 44センチ1月2日
2014 (平26) 12.13	落雷	(1)その他被害 河川 1箇所 (2)公共土木施設被害 6,984千円	冬型の気圧配置が強まったため、みぞれや雪で雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大1時間降水量(13日)) 今庄 10.0mm、武生 9.5mm (日降水量(13日)) 今庄 68.0mm、武生 41.5mm (日最大風速) 越廼 12.4m/s(西)20時01分 三国 11.9m/s(西北西)06時46分 (日最大瞬間風速) 三国 21.5m/s(西)14時06分 越廼 20.0m/s(西南西)17時41分
2014 (平26) 12.16	風浪	(1)その他被害 道路 2箇所 (2)その他被害 河川 1箇所 (3)その他被害 港湾 1箇所 (4)その他被害 海岸 4箇所 (5)公共土木施設被害 892,684千円	日本海北部にある発達中の低気圧からのびる寒冷前線が通過したため、雨で雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大風速) 越廼 13.9m/s(西北西)23時06分 春江 12.2m/s(西)22時44分 (日最大瞬間風速) 三国 24.7m/s(西北西)18時54分 越廼 21.3m/s(西)22時56分
2014 (平26) 12.17	斜面崩壊	(1)その他被害 崖くずれ 1箇所	強い冬型の気圧配置となったため、雪時々曇りで雷やあられを伴ったところがあった。 (日最大1時間降水量(17日)) 今庄 8.0mm、美山 7.5mm (日降水量(17日)) 武生 38.0mm、美山 38.0mm

年月日	種類	被害状況	気象状況
2015 (平27) 1.11	強風	(1)住家被害 一部破損 42棟 (2)非住家被害 公共建物 2棟 その他 5棟 (3)その他被害 28,917千円	日本付近は強い冬型の気圧配置となり、福井県では、寒気を伴った上空の気圧の谷の影響で、大気の状態が非常に不安定となった。 坂井市三国町楽円からあわら市市姫で発生した突風は、竜巻(F0)と推定。坂井市三国町米納津から坂井町木部新保で発生した突風は、竜巻(F1)と推定。 (日最大風速) 敦賀 15.4m/s(北北西)19時12分 春江 13.0m/s(北)18時56分 (日最大瞬間風速) 三国 21.9m/s(西北西)16時08分 敦賀 21.0m/s(北北西)19時08分
2015 (平27) 7.17~18	台風 11号	(1)その他被害 河川 4箇所 (2)その他被害 砂防 9箇所 (3)公共土木施設被害 272,580千円 (4)その他の公共施設被害 6,472千円	17日夜に山陰沖に進んだ台風第11号は、18日には熱帯低気圧に変わり日本海を北東に進んだため大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(18日)) 美浜 17.5 ^{mm} 、敦賀 17.0 ^{mm} (日降水量) 小浜 84.5 ^{mm} (17日)、 敦賀 79.5 ^{mm} (18日)
2015 (平27) 8.5	落雷	(1)人的被害 重傷 1人	南から湿った空気と上空寒気により大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨となったところがあった(福井地方気象台で14:12から14:40に雷電を観測)。
2015 (平27) 8.25	台風 15号	(1)人的被害 軽傷 2人 (2)その他の公共施設被害 216千円	強い台風第15号は25日06時過ぎには熊本県荒尾市付近に上陸した後、北に進み10時には日本海に達した。21時には大型の台風となった。このため、非常に強い風を観測したところがあった。 (日最大風速) 敦賀 20.4m/s(南東)17時49分 三国 16.0m/s(南南東)20時00分 (日最大瞬間風速) 敦賀 30.7m/s(南東)18時26分 小浜 30.6m/s(東南東)17時01分
2015 (平27) 9.8~9	台風 18号	(1)公共土木施設被害 4,308千円	台風第18号が、東海地方から北陸地方を北上し日本海に進んだため、大雨となったところがあった。 (日最大1時間降水量(9日)) 美浜 26.5 ^{mm} 、敦賀 22.0 ^{mm} (日降水量(9日)) 今庄 100.0 ^{mm} 、敦賀 85.0 ^{mm}

年月日	種類	被害状況	気象状況
2015 (平27) 10.1~2	大雨	(1) 公共土木施設被害 13,142千円	<p>前線を伴った低気圧が急速に発達しながら北陸地方を通過したため、大雨となったところがあった。</p> <p>(日最大1時間降水量(2日)) 今庄 57.5^{mm}、敦賀 48.0^{mm}</p> <p>(日降水量(2日)) 今庄 83.0^{mm}、美山 73.0^{mm}</p> <p>(日最大風速) 小浜 14.6m/s(北西)2日01時21分 敦賀 14.4m/s(南南東)1日16時38分</p> <p>(日最大瞬間風速) 敦賀 23.6m/s(西北西)2日01時02分 小浜 23.5m/s(北北西)2日01時09分</p>
2015 (平27) 12.4	強風	(1) 公共土木施設被害 429,531千円	<p>日本付近は冬型の気圧配置となり、福井県では、大気の状態が不安定となった。</p> <p>(日最大風速) 越廼 13.1m/s(西)4日05時02分 敦賀 12.1m/s(西)4日05時30分</p> <p>(日最大瞬間風速) 三国 28.1m/s(西)4日00時53分 越廼 23.6m/s(西南西)4日01時24分</p>
2015 (平27) 12.11	強風	(1) 人的被害 重傷 1人	<p>本州上を前線を伴った低気圧が東北東進したため、大雨や強風となりました。また、福井県では、大気の状態が非常に不安定となり、竜巻などの激しい突風が発生しやすい状況となった。</p> <p>(日最大1時間降水量(11日)) 武生 24.0^{mm}、美浜 22.5^{mm}</p> <p>(日降水量(11日)) 大飯 92.5^{mm}、小浜 86.0^{mm}</p> <p>(日最大風速) 春江 15.3m/s(北)11日12時26分 敦賀 15.3m/s(北北西)11日14時13分</p> <p>(日最大瞬間風速) 小浜 24.7m/s(北北西)11日13時27分 敦賀 22.9m/s(北北西)11日14時04分</p>

第2章 平成27年の天候概況

1 天候の特徴

冬型の気圧配置が長続きせず少雪、春と秋は高気圧に覆われることが多く高温・多照。

◇ 年（1月～12月）の概況

1月、2月は上旬に冬型の気圧配置が強まり大雪となりましたが、寒気の南下は一時的で冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧の影響を受けることが多かった。

3月から5月は、天気は概ね数日の周期で変化したが、5月を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かった。また、低気圧が日本の北を通過することが多かったため、日本付近には南からの暖かい空気が流れ込みやすく、加えて日射の影響もあって気温の高い日が多かった。

6月から8月は、6月から7月上旬にかけては、梅雨前線が本州南岸に停滞することが多くありましたが、前線や低気圧の影響を受けにくく、7月中旬から太平洋高気圧の本州付近への張り出しが一時的に強まり、晴れて気温の高い日が多くなった。8月中旬からは弱まり、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。（梅雨入りは6月19日ごろ、梅明けは7月25日ごろ）

9月から11月は、9月のはじめは秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、台風第18号が接近して大雨となった日もあったが、その後、天気は概ね数日の周期で変化した。10月は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。11月は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

12月は、低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多くなったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

官署	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 (℃)	平年差 (℃)	階級区分	本年 (mm)	平年比 (%)	階級区分	本年 (h)	平年比 (%)	階級区分
福井	15.2	0.7	高い	2299.5	103	平年並	1684.6	104	平年並
敦賀	15.9	0.6	高い	2378.0	111	多い	1593.8	102	平年並

※平年差（比）は、平年値（1981年～2010年の30年平均値）から求めています。

◇ 台風

台風の発生数は平年並の27個（平年値25.6個）となり、日本への接近数は14個（平年値11.4個）、上陸数は昨年と同様、4個（平年値2.7個）で、北陸地方への接近数は2個（平年値2.5個）となりました。

【台風発生数・上陸数】

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平年値
発生	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27	25.6
上陸（注1）							2	1	1				4	2.7
北陸地方に 接近した台風							1		1				2	2.5

(注1) 「上陸」は台風が中心が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指します。
※台風が中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「北陸地方に接近した台風」としています。

・接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。

2 月別気象概況

◇ 2015年(平成27年)月別気象概況

1月

低気圧が数日の周期で通過した後は冬型の気圧配置となり、寒気を伴った気圧の谷の影響で雪や雨の日が多く、1日～2日は大雪となりました。

月平均気温は、三国、勝山、敦賀、小浜で平年より高く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、三国、大野で平年より少なく、九頭竜、今庄で平年並、その他の地点では平年より多いか、かなり多くなりました。

月間日照時間は、福井、勝山、大野、今庄で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなりました。

2月

上旬から中旬は低気圧や寒気の影響で雪や雨の日が多く、9日～10日にかけて冬型の気圧配置が強まり嶺北南部及び嶺南東部を中心に大雪となりました。下旬は、高気圧や低気圧及び気圧の谷が交互に通る、天気は周期的に変わりました。

月平均気温は、三国、小浜で平年より高く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、大飯で平年よりかなり少なく、越廼、九頭竜、小浜で平年より少なく、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、三国、今庄で平年並、その他の地点では平年より少なくなりました。

3月

高気圧に覆われて晴れた日がありましたが、冬型の気圧配置や上空の寒気の影響で、雨や雪の日が多くなりました。

月平均気温は、三国、越廼で平年よりかなり高く、福井と嶺南で平年より高く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、越廼、勝山、大野、九頭竜、大飯で平年並、その他の地点では平年より多くなりました。

月間日照時間は、越廼、今庄、嶺南で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

4月

上旬、中旬は前線や気圧の谷の影響で、雨や曇りの日が多くなりましたが、下旬は帯状高気圧に覆われて晴れた日が続きました。

月平均気温は、すべての地点で平年より高くなりました。

月降水量は、大野、今庄で平年並、その他の地点では平年より多いか、かなり多くなりました。

月間日照時間は、三国、福井、越廼で平年より少なく、その他の地点では平年並となりました。

5月

中頃は気圧の谷の影響で、まとまった雨の降った日がありましたが、はじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日が続きました。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなり、福井、敦賀、三国、春江、越廼、小浜では5月としての「月平均気温の高い方から」の第1位を記録しました。

月降水量は、大飯で平年並、その他の地点では平年より少ないか、かなり少くなりました。

月間日照時間は、すべての地点で平年よりかなり多くなり、福井、三国、越廼、勝山、大野、今庄では5月としての「月間日照時間の多い方から」の第1位を記録しました。

6月

高気圧に覆われて晴れた日が多くありましたが、低気圧や寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定な日もありました。26日は嶺北を中心に大雨となりました。なお、19日に新潟地方気象台は「北陸地方は、梅雨入りしたと見られます。」と発表しました。

月平均気温は、三国で平年より高く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、三国で平年より少なく、勝山、小浜、大飯で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、勝山、大野、越廼で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

7月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、梅雨前線や気圧の谷、及び台風第11号の影響で曇りや雨の日がありました。21日、新潟地方気象台は「北陸地方は、梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

※気象庁では、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行った結果、統計値として「北陸地方の梅雨明けを7月25日ごろ」に確定しました。

月平均気温は、三国、福井、敦賀、美浜で平年より高く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、福井で平年より少なく、今庄、敦賀、美浜、小浜で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、すべての地点で平年並となりました。

8月

上旬は、高気圧に覆われて晴れた日が続き、中旬以降は、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、25日は台風第15号の影響で強い風を観測したところがありました。

月平均気温は、大野、敦賀、小浜で平年より低く、その他の地点では平年並となりました。

月降水量は、勝山、大野、今庄、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、すべての地点で平年並となりました。

9月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

9日は、台風第18号の影響で大雨となったところがありました。

月平均気温は、越廼、今庄で平年よりかなり低く、その他の地点では平年より低くなりました。

月降水量は、勝山、大野、美山、今庄、敦賀、美浜で平年より多く、その他の地点では平年並となりました。月間日照時間は、三国、福井、大野、今庄で平年より少なく、その他の地点では平年よりかなり少なくなりました。

10月

前線や寒気の影響で曇りや雨の日もありましたが、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

月平均気温は、三国、敦賀、美浜で平年並、その他の地点では平年より低くなりました。

月降水量は、勝山、九頭竜、大野、美山、敦賀で平年並、その他の地点では平年より少ないか、かなり少なくなりました。

月間日照時間は、越廼で平年より多く、その他の地点では平年よりかなり多くなりました。

11月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなりました。

月降水量は、勝山、美山で平年より多く、小浜、大飯で平年より少なく、その他の地点では平年並となりました。

月間日照時間は、大野、今庄で平年よりかなり少なく、その他の地点では平年より少なくなりました。

12月

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、南から暖かい空気が流れ込んだため、平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は、すべての地点で平年よりかなり高くなりました。

月降水量は、三国、大野、九頭竜、今庄、敦賀で平年並、その他の地点では平年より多くなりました。

月間日照時間は、三国で平年より多く、勝山、大野、今庄で平年より少なく、その他の地点では平年並となりました。

第3章 防災訓練の実施状況

I 総合防災訓練

平成27年度福井県総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

災害対策基本法および福井県地域防災計画に基づき、防災関係機関が協力して迅速・的確に応急対策が実施できるよう、訓練会場の特色を活かした実践的な防災訓練を実施する。また、併せて住民の防災に対する意識の高揚を図る。

今年度は小浜市を主会場とし、大雨による土砂災害や津波災害に対応できる広域的な防災体制の確立を図る。

2 日時

平成27年8月30日(日) 8時00分～12時00分

3 場所

- (1) 主会場 小浜漁港(小浜市)
- (2) 住民避難訓練 小浜市一円および福井県立大学小浜キャンパス

4 主催 福井県、小浜市

5 訓練参加機関(順不同)

(1) 国の行政機関

中部管区警察局福井県情報通信部、北陸総合通信局、敦賀海上保安部、東京管区気象台福井地方気象台、近畿地方整備局、近畿地方整備局福井河川国道事務所、近畿地方整備局九頭竜川ダム統合管理事務所

(2) 自衛隊

自衛隊福井地方協力本部、陸上自衛隊第14普通科連隊、陸上自衛隊第10飛行隊、陸上自衛隊第372施設中隊、海上自衛隊舞鶴地方総監部、航空自衛隊第6航空団

(3) 警察関係

福井県警察本部、敦賀警察署、小浜警察署、小浜市防犯隊、小浜市交通指導員

(4) 応援県

石川県、富山県、奈良県

(5) 消防関係

福井県消防長会、若狭消防組合消防本部、福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、永平寺町消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、敦賀美方消防組合消防本部、小浜消防団、自主防災組織、(公社)福井県消防協会

(6) 医療関係

(一社)福井県医師会、(一社)小浜市医師会、(一社)福井県歯科医師会、日本赤十字社福井県支部、福井県赤十字血液センター、福井県赤十字救護奉仕団、小浜市赤十字奉仕団、福井県無線赤十字奉仕団、赤十字飛行隊福井支隊、福井赤十字病院、福井県立病院、市立敦賀病院、杉田玄白記念公立小浜病院、福井総合病院、(公社)福井県看護協会

(7) 交通運輸関係

(一社)福井県トラック協会、小浜貨物自動車(株)、日本通運(株)福井支店、(一社)日本自動車連盟、全日本レッカー事業協同組合、西日本旅客鉄道(株)金沢支社福井地域鉄道部、中日本高速道路(株)金沢支社、西日本高速道路(株)関西支社

(8) ライフライン関係

西日本電信電話(株)福井支店、(株)NTTネオメイト北陸支店、(株)NTTワールドテクノ北陸支店、(公財)日本公衆電話会、(株)NTTドコモ北陸支社、ドコモCS北陸(株)、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、関西電力(株)京都電力部、(一財)関西電気保安協会、小浜市管工事協同組合、小浜市建設業会、(一社)福井県LPGガス協会、福井県高圧ガス地域防災協議会、(一社)日本コミュニティーガス協会近畿支部福井県防災会、関西電力(株)原子力事業本部、日本原子力発電(株)、(独)日本原子力研究開発機構

(9) 各種団体

北陸地方非常通信協議会、福井県災害ボランティアセンター連絡会、小浜市災害ボランティアセンター連絡会、福井県石油業協同組合、(株)福井銀行、(株)NHKアイテック、(株)ケーブルテレビ若狭小浜、(株)自律制御システム研究所、防災関連企業(2社)

(10) 地元地区関係(小浜市住民)

(11) 福井県

(12) 小浜市

6 訓練種目

(1) 実働訓練 (主会場：小浜漁港)

① 孤立集落からの急病者等搬送、救援物資供給訓練

- ・ 漁村集落の孤立 (小浜市仏谷区)
- ・ 急病者搬送訓練 (海保船舶、県警船舶、消防)
- ・ 救援物資供給訓練 (トラック協会、県水産課船舶)

② 自衛隊、警察、消防、海保等の実働機関が連携した負傷者搜索救助訓練

- ・ 実働機関と連携した現地災害対策本部運営訓練 (県、自衛隊、警察、海保、消防)
- ・ 船舶搜索救助訓練 (海保、消防)
- ・ 高層建物孤立者救助訓練 (福井県防災ヘリ、消防)
- ・ 座屈建物搜索救助訓練 (消防、DMAT)
- ・ 土砂埋没車両搜索救助訓練 (県警、消防)
- ・ 瓦礫搜索救助訓練 (陸自、消防)
- ・ 応急救護所設置運営訓練 (消防、DMAT、看護協会等)

③ その他

- ・ ドローンを活用した災害現場の上空調査訓練 (消防)
- ・ 放置車両移動訓練 (県警、県、レッカー組合)
- ・ 炊き出し訓練 (陸自、市赤十字奉仕団)

(2) 住民避難訓練 (小浜市一円)

① 土砂災害および津波災害からの住民避難訓練

- ・ 市内全 12 地区 148 集落を対象とした住民避難訓練 (参加者 約 3,000 人、全避難所 (35 か所) の開設)

② 住民への意識啓発・体験 (会場：県立大学小浜キャンパス)

- ・ 非常時預金払戻し仮設店舗開設訓練 (福井銀行)、住民による災害時用携帯トイレ組立体験等

(3) 情報伝達訓練

① 住民に対するきめ細かな情報伝達訓練

- ・ 避難情報等を Lアラートへ配信し、ケーブルテレビの文字情報により小浜市内に放送

② 福井県災害情報インターネットシステム等を活用した情報伝達訓練

- ・ 被害現場の写真等を、スマートフォンを用いて県庁 (災害対策本部)、主会場へ伝達

7 災害想定

- ・ 大雨により小浜市に土砂災害警戒情報が発表され、その後若狭湾沖で地震が発生し、市沿岸に津波警報が発表
- ・ 市内では、土砂災害および津波災害による家屋の倒壊、火災、ライフラインの被害、孤立集落が発生

II 原子力防災総合訓練

平成27年度原子力防災総合訓練を、次のとおり実施した。

1 目 的

昨年度の課題として、個別分野の実態に即した訓練が必要とされたことから、「安定ヨウ素剤緊急時配布訓練」、「スクリーニング・除染訓練」、「緊急時モニタリング訓練」、「学校や病院等各施設における個別訓練」など、個別の訓練を実施し、防災関係職員の習熟度を高めることを目的とする。

2 実 施 日

平成27年10月16日（金）
（ただし、30 km圏内に位置する各施設における個別訓練は年間を通じて実施）

3 訓練対象発電所

関西電力(株) 高浜発電所

4 訓練実施項目

(1) 最初動対応訓練

県、市町、自衛隊、海上保安庁、消防、警察など防災関係者86機関442名が参加

- ・ 県庁や市町庁舎等から現地対策本部（高浜オフサイトセンター）への参集を実施

[職員参集状況]

6:30 トラブル発生の通知を受け、県庁に原子力安全対策課職員10人が参集

7:30 トラブル進展を受け、県庁に危機対策・防災課、原子力安全対策課職員全員が参集

8:30 警戒事態の段階で嶺南振興局や市町庁舎から計53人が参集し、現地警戒本部体制を構築

11:00 施設敷地緊急事態の段階で、追加で17人が参集し、現地災害対策本部体制を構築(70人)

- ・ 市町、自衛隊、バス会社など各関係機関との連携および情報収集を実施
- ・ 高浜町PAZ圏の避難者情報把握

[内訳]

要支援者 1,476人(学校・保育所 児童・園児 788人、病院・福祉施設 入所者 22人、在宅 要支援者 666人)

支援者 828人(学校・保育所 職員 139人、病院・福祉施設 職員 23人、在宅 支援者 666人)

一時滞在者 60人

- ・ 避難者の輸送手段として必要なバス等83台を確保

[内訳] バス 52台、福祉車両 31台

- ・ 自衛隊、海上保安庁に支援を要請し、約2,100人分の輸送手段を確保

[内訳] 車両 167台(1,993人分) ヘリ 5機(約50人分) 船舶 3隻(約60人分)

- ・ 自家用車避難できない住民情報の把握(111人)および輸送手段の確保(バス4台)

(2) 安定ヨウ素剤緊急時配布訓練

福井県、県内UPZ 関係市町(12市町)の医師、保健師、薬剤師など13機関84名が参加

- ・ 「おい町総合町民センター」および「若狭町役場上中庁舎」の2会場で実施
- ・ 避難車両(自家用車、バス)内において配布する方式を検証
- 〔 各会場において、自家用車4台、バス1台、模擬住民24人に対し、保健師等が口頭でヨウ素アレルギーの有無等を確認 〕
- ・ 乳幼児の服用に必要な粉末剤から服用液を調剤する訓練を実施

(3) スクリーニング・除染訓練

福井県、原子力事業者、福井県診療放射線技師会、放射線医学総合研究所、日本原子力研究開発機構の医師、保健師、放射線技師など6機関71名が参加

- ・ 「小浜市総合運動場駐車場」および「サンドーム福井駐車場」の2会場で実施
- ・ ゲート型モニターの複数レーン設置を実施
(ゲート型モニター4台を設置し、検査を実施(車両1台あたり検査時間 約2分程度))
- ・ 除染については、布を用いた拭き取りによる車両の除染手順の検証を実施
- ・ 模擬住民に対しサーベイメータを用いた汚染検査および拭き取りによる除染を実施

(4) 緊急時モニタリング訓練

福井県、原子力規制庁、原子力事業者 6機関84名が参加

- ・ モニタリング情報共有システム(ラミセス)を活用し、測定結果を収集
- ・ 様々な放射線測定器を用いて、モニタリングを実施
- 〔 モニタリングカー(6台)、可搬型モニタリングポスト(18台) 固定観測局(35箇所)によるモニタリング実施 〕

(5) 各施設(学校、保育所、病院、福祉施設)における個別訓練

年間を通じ、30km圏内の学校、保育所、病院、福祉施設で作成した個別計画に基づく訓練を実施

(実施例) 屋内退避訓練、保護者への引渡し訓練、放射線防護設備(フィルター)操作訓練等

施設の種別	施設数
学校(幼稚園を含む)	175施設
保育所	119施設
病院	41施設
社会福祉施設	140施設
合計	475施設

Ⅲ 福井県石油コンビナート等総合防災訓練

平成27年度福井県石油コンビナート等総合防災訓練を次のとおり実施した。

1 目的

石油コンビナート等災害防止法および福井県石油コンビナート等防災計画の定めるところにより、県、市、地方行政機関等防災関係機関および特定事業所が参加して海上および陸上における総合的な訓練を実施し、訓練参加機関相互が有機的かつ効果的に連携した迅速かつ的確な災害応急対策を確保するとともに、特定事業所における防災意識の高揚および防災体制の強化を図る。

2 日時

平成27年8月9日(日) 午前8時30分～12時00分

3 場所

福井臨海地区石油コンビナート等特別防災区域およびその周辺海域

4 主催 福井県石油コンビナート等防災本部

5 訓練参加機関(順不同)

福井県 福井県警察本部 坂井西警察署 坂井市 福井市 嶺北消防組合消防本部 福井市消防局 石川県 近畿地方整備局 福井河川国道事務所 中部管区警察局福井県情報通信部 敦賀海上保安部 福井海上保安署 福井地方気象台 陸上自衛隊第14普通科連隊 陸上自衛隊第372施設中隊 航空自衛隊第6航空団 (独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 福井国家石油備蓄基地事務所 (株)福備福井事業所 北陸電力(株)福井火力発電所 福井港災害事故防止対策協議会 三国共同防災協議会 日本赤十字社福井県支部 等

6 訓練種目

(1) 海上訓練

地震・津波情報 広報活動 船舶津波避難 航空機現状調査 現地防災本部設置 被害状況調査 船舶交通制限・安全対策 浸水道路排水 海上浮遊物撤去 津波漂流者救出救助 応急体制整備 流出油拡散防止 タンカー火災消火 火災船沖出し 浮流油防除 負傷者救出救助 流出油攪拌処理

(2) 陸上訓練

地震・津波情報 事業所自衛防災隊初期防御活動 現地防災本部設置 広報活動 航空機現状調査 道路啓開 防油提補強・構築 負傷者救出救助 タンク火災消火 タンク冷却 消火薬剤搬送 大容量泡放射システム運用

7 災害想定

福井県沖を震源とするM7.4の地震が発生し、坂井市において震度6弱を観測、大津波警報が発表され最大7mを超える津波が到達

福井港において、津波により係留中のタンカーから大量の重油が海上に流出後、タンカー火災が発生。

福井国家石油備蓄基地において、地震によりタンクから原油が漏えい、防油堤が一部破損、その後の余震でタンク火災が発生。

IV 過去5年間の総合防災訓練等の実施状況

種別	年度	23	24	25	26	27
総合防災訓練	日時	平成23年8月28日(日)	平成24年11月9日(金) ～11月10日(土)	平成25年8月25日(日)	平成26年11月1日(土)	平成27年8月30日(日)
	場所	麻生野土砂採取場跡地 若狭町小川地区沖 鳥羽小学校 他	テクノポール福井、福井空港	鯖江中学校、越前漁港跡地区、 鯖江市内、越前町沿岸部、南越 前町沿岸部	弁天緑地、勝山市一円、大野市 保健センター	小浜漁港、小浜市一円、県立大 学小浜キャンパス
	主催	福井県、若狭町	福井県、福井市、坂井市	福井県、鯖江市、越前町、南越前 町	福井県、勝山市	福井県、小浜市
	参加機関	80	150	105	84	85
	訓練種目	36	66	53	39	48
	想定	地震と津波による災害	地震と津波による災害	地震と津波および集中豪雨によ る災害	大雨と地震による災害	大雨による土砂災害および津波 災害
	参加人員	5,400	2,500	3,900	4,500	4,100
石油コンビナート等 総合防災訓練	日時					平成27年8月9日(日)
	場所					福井臨海地区石油コンビナート 等特別防災区域およびその周辺 福井県石油コンビナート等防災 本部
	主催		福井県総合防災訓練・ 緊急消防援助隊中部ブロック 合同訓練(上記)の中で実施			
	参加機関					
	訓練種目					30
	想定					28
	参加人員					451
原(総合訓練) 原子力防災訓練	日時	平成24年3月18日(日)		平成25年6月16日(日)	平成26年8月31日(日)	平成27年10月16日(金) ※平成27年度は個別訓練
	訓練 対象施設	日本原子力発電(株) 敦賀発電所2号機	関西電力(株) 美浜発電所3号機	関西電力(株) 高浜発電所3号機	関西電力(株) 高浜発電所3号機	関西電力(株)高浜発電所
	主催	福井県、敦賀市、美浜町、南越前町	福井県、敦賀市、美浜町、敦賀市	福井県、美浜町、敦賀市	福井県、高浜町、小浜市、 おおい町、若狭町	福井県
	参加機関	120	未開催	120	120	①最初対応訓練 86機関、442名参加
	訓練種目	12		12	12	②安定ヨウ素剤緊急時配布訓練 13機関、84名参加
	想定	放射性物質放出のおそれ		全交流電源喪失および原子炉冷 却機能の喪失により、全面緊急事 態に至る	全交流電源喪失および原子炉冷 却機能の喪失により、全面緊急事 態に至り、放射性物質放出	③スクリーニング・除染訓練 6機関、71名参加
	参加人員	3,500		2,500	4,100	④緊急時モニタリング訓練 6機関、84名参加

V 市町別自主防災組織の結成状況

平成28年4月1日現在

	管内世帯数 (A)	自主防災組織 の組織数	隊員数	組織されている 地域の世帯数 (B)	組織率 (カバー率) (B/A)
福井市	101,653	1,144	98,074	98,074	96.5%
敦賀市	26,700	89	2,000	25,328	94.9%
小浜市	11,353	99	1,082	7,366	64.9%
大野市	10,492	168	6,144	10,280	98.0%
勝山市	7,563	115	1,708	7,099	93.9%
鯖江市	22,201	154	7,166	22,046	99.3%
あわら市	9,616	99	3,170	8,367	87.0%
越前市	28,160	256	9,520	28,054	99.6%
坂井市	29,936	225	3,303	22,570	75.4%
永平寺町	7,349	90	3,298	6,258	85.2%
池田町	915	21	149	915	100.0%
南越前町	3,404	65	809	2,984	87.7%
越前町	6,636	58	1,411	5,705	86.0%
美浜町	3,834	22	4,077	2,678	69.8%
高浜町	4,008	16	2,705	1,019	25.4%
おおい町	3,191	23	1,202	1,668	52.3%
若狭町	5,059	82	1,444	4,792	94.7%
合計・ 平均	282,070	2,726	147,262	255,203	90.5%

※管内世帯数は、住民基本台帳人口に基づく人口、世帯数調べ（平成27年12月末現在）

第4章 平成27年度防災行政無線利用状況

1 無線局の現況

防災行政無線局等一覧 (平成28年4月1日現在)

〔固定系〕

区分	局数		設置場所	
	多重系	衛星系		
統制局	1	1	県庁	
中継局	6		越知山 (越前町大谷寺) 久須夜ヶ岳 (小浜市堅海) 村国山 (越前市村国) ハツ杉 (越前市別印) 岳山 (美浜町早瀬) 青葉山 (高浜町中山)	
支部局	8	7	8土木 (福井、三国、奥越、勝山 [※] 、丹南、鯖江丹生、敦賀、小浜) [※] 勝山土木は衛星系を持たない	
合庁局	3	2	3合同庁舎 (福井、丹生、坂井 [※]) [※] 坂井合庁の衛星系は、三国土木と共用	
ダム管等局	11		原子力センター 龍ヶ鼻ダム管 [※] 、龍ヶ鼻ダム下流連絡所 [※] 、永平寺堰堤 [※] 笹生川ダム管、笹生川堰堤 [※] 、浄土寺川堰堤 [※] 広野ダム管、広野堰堤 [※] 、榎谷堰堤 [※] 大津呂堰堤 [※] [※] 水防無線局を含む	
小計	29	10		
端末局	県出先機関		14	健康福祉センター (福井、坂井、奥越、丹南、丹南 (武生)、二州、若狭)、県立病院、福井港湾、敦賀港湾 衛生環境センター、防災航空事務所 [※] 坂井上水、日野川上水 [※] 福井空港は、併設局 (防災航空隊) と共用
	市町		17	9市: 福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井 8町: 永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
	消防本部		7	7消防本部 福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、南越、若狭 [※] 鯖江丹生消防・敦賀美方消防は併設局 (鯖江市・敦賀市) と共用
	国・公共機関等		19	福井気象台、鯖江自衛隊、舞鶴自衛隊、敦賀海保、福井海保 日赤福井、福井県医師会、福井火力、福井石油備蓄、原電敦賀 関電美浜・高浜・大飯、ふげん、もんじゅ オフサイトセンター (敦賀、美浜、大飯、高浜)
	小計		57	
衛星車載局		1		
可搬型地球局		3		
合計	29	71		

[移動系]

区 分		局 数		設 置 場 所
陸 上 基 地 局	全 県 移 動 260MHzデジタル	11		県庁統制局 中継局（越知山、久須夜ヶ岳、陣ヶ岡、村国山、岳山、青葉山、 ハツ杉） 土木事務所（勝山、敦賀） 菅生川ダム管
	FWA (18GHz)	1		坂井合同庁舎
	400MHz 防災相互	1		防災航空事務所
	計	13		
航 空 局		6		防災航空事務所（可搬用含む）
陸 上 移 動 局	全 県 移 動 局 260MHzデジタル	車載型	47	県庁 3台 土木事務所 42台（福井6台、三国6台、奥越7台、丹南7台、鯖江丹生6台、 敦賀4台、小浜6台） 防災航空事務所、衛星車載局
		半固定型	39	県出先機関8台：健康福祉センター（福井、坂井、奥越、丹南、二州、若狭） 県立病院、防災航空事務所
				9市：福井、敦賀、小浜、大野、勝山、鯖江、あわら、越前、坂井
				8町：永平寺、池田、南越前、越前、美浜、高浜、おおい、若狭
				9消防本部：福井、大野、勝山、永平寺、嶺北、鯖江丹生、南越、敦賀美方、若狭 5防災関係機関：福井駅、NHK福井、福井放送、福井テレビ、FM福井
		携帯型	70	県庁 30台、敦賀土木 20台、小浜土木 20台
		携帯型(他機関)	43	原子力センター 3台、地域医療課 40台
	小 計	199		
	FWA (18GHz)	1		陣ヶ岡中継局
	消 防 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所
		携帯型	8	県庁 1台、防災航空事務所 7台
		小 計	9	
	防 災 移 動 局	車載型	1	防災航空事務所、400MHz 防災相互
携帯型		5		
小 計		6		
計		215		
携 帯 局 (ヘリ用)		消防用	2	防災ヘリコプター
航 空 機 局		航行運航用	1	
簡 易 無 線 局			2	簡易画像伝送装置（衛星車載局に搭載）
ヘ リ サ ッ ト 局	携帯基地地球局	固定型	1	県庁局
	ヘリコプター局	ヘリ搭載型	1	防災ヘリコプター
	計		2	
合 計			241	

2 利用状況

(1) 一般通話の利用状況

平成27年中

区 分	一年間の総計	一カ月当たりの平均使用回数	一局当たりの月平均使用回数
支 部 局	218,473	18,206	(8局) 2,276
合庁・ダム管等局	168,124	14,010	(17局) 824
県出先機関	4,540	378	(13局) 29
市 町	1,005	84	(17局) 4.9
消 防 本 部	430	36	(9局) 4.0
国出先機関	108	9	(5局) 1.8
公 共 機 関	70	5.8	(9局) 0.6
原子力発電所等	90	7.5	(10局) 0.8
合 計	392,840	32,737	(88局) 372

(2) 一斉指令の利用状況

[指令内容別]

平成27年中

区 分	気 象 関 係				事務連絡	テスト	合 計
	警 報	注意報	情 報	計			
指令回数	76	1,429	491	1,996	394	21	2,411
前年比(%)	26	104	36	66	153	18	71

[指令種類別]

平成27年中

区 分	全 県	県出先	市 町	消 防	その他	合 計
指令回数	2,224	42	148	134	0	2,548
前年比(%)	73	30	67	66	0	71

(3)一斉指令月別通信回数

区分	平成27年中												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
気警報	12	4	0	0	0	2	14	10	8	8	10	8	76
象注意報	140	150	154	116	93	114	99	132	89	98	114	130	1429
関情報	76	59	33	29	27	20	46	28	50	25	37	61	491
係小計	228	213	187	145	120	136	159	170	147	131	161	199	1996
事務連絡	49	63	58	29	48	19	32	20	8	16	15	37	394
テラスト	1	2	1	7	3	0	0	0	0	0	4	3	21
計	278	278	246	181	171	155	191	190	155	147	180	239	2411
全県	257	260	237	159	161	138	157	166	151	139	169	230	2224
県出先	2	1	5	6	3	1	7	6	1	1	3	6	42
市町	18	21	5	14	7	15	28	19	2	7	9	3	148
消防	16	17	4	16	5	14	26	18	3	7	5	3	134
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	293	299	251	195	176	168	218	209	157	154	186	242	2548

備考)市町と消防へ一括して一斉指令した場合は、市町と消防の種類別において、それぞれ回数を計上

3 多重局通信回数集計表

平成27年中

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
福井支部	2,462	2,262	3,142	2,793	2,491	3,500	3,360	2,602	2,791	3,125	2,836	2,719	34,083
三國支部	1,380	1,431	1,900	2,013	1,583	1,860	1,770	1,637	1,490	2,005	1,807	1,619	20,495
奥越支部	1,225	541	0	27	5	31	0	4	2	0	0	275	2,110
勝山支部	248	331	561	401	0	143	313	225	277	295	382	390	3,566
丹南支部	2,067	2,047	3,301	3,278	2,816	3,314	3,088	2,796	2,853	3,227	2,823	2,476	34,086
鯖江丹生支部	1,179	1,448	1,833	1,656	1,285	1,552	1,481	1,294	1,392	1,296	1,027	1,262	16,705
教賀支部	1,154	2,468	4,748	4,207	3,902	4,309	4,607	4,140	3,978	4,139	3,502	3,436	44,590
小浜支部	1,868	3,744	6,857	6,359	5,362	6,280	6,147	5,327	5,249	5,708	5,008	4,929	62,838
福井合庁	3,399	3,528	5,349	5,439	4,291	5,238	5,277	4,522	3,844	4,588	3,909	3,704	53,088
坂井合庁	1,095	1,502	2,375	2,548	2,139	2,534	2,279	2,157	1,989	2,169	2,240	1,881	24,908
奥越合庁	221	1,821	4,017	3,829	3,186	4,187	3,829	3,279	3,129	3,800	3,339	2,896	37,533
南越合庁	865	1,592	3,074	3,024	2,466	3,223	3,077	2,591	2,610	2,858	2,562	2,541	30,483
教賀合庁	30	20	0	21	0	3	2	0	0	0	0	2	78
若狭合庁	1	0	0	26	0	2	3	0	0	2	0	0	34
丹生合庁	438	643	1,260	1,269	985	1,119	1,116	914	827	1,019	974	826	11,390
原子カセンタ	102	349	542	378	459	462	336	314	316	499	301	305	4,363
笹生川ダム管	80	134	279	158	98	164	149	99	115	120	157	118	1,671
笹生川堰堤	0	0	2	29	7	29	21	5	12	19	123	0	247
浄土寺川堰堤	0	1	0	27	4	13	13	9	7	11	4	3	92
広野ダム管	0	117	397	246	325	264	313	251	351	192	224	212	2,892
広野堰堤	1	4	183	14	4	37	8	6	2	3	1	2	265
榑谷堰堤	33	34	135	49	19	73	13	4	2	0	1	2	365
龍ヶ鼻ダム管	28	26	45	103	46	27	49	33	38	39	44	60	538
永平寺ダム	0	4	0	34	4	0	5	1	0	0	0	6	54
大津呂ダム管	44	15	0	34	3	8	11	1	2	3	1	1	123
計	17,920	24,062	40,000	37,962	31,480	38,372	37,267	32,211	31,276	35,117	31,265	29,665	386,597

4 端末局無線通信回数調

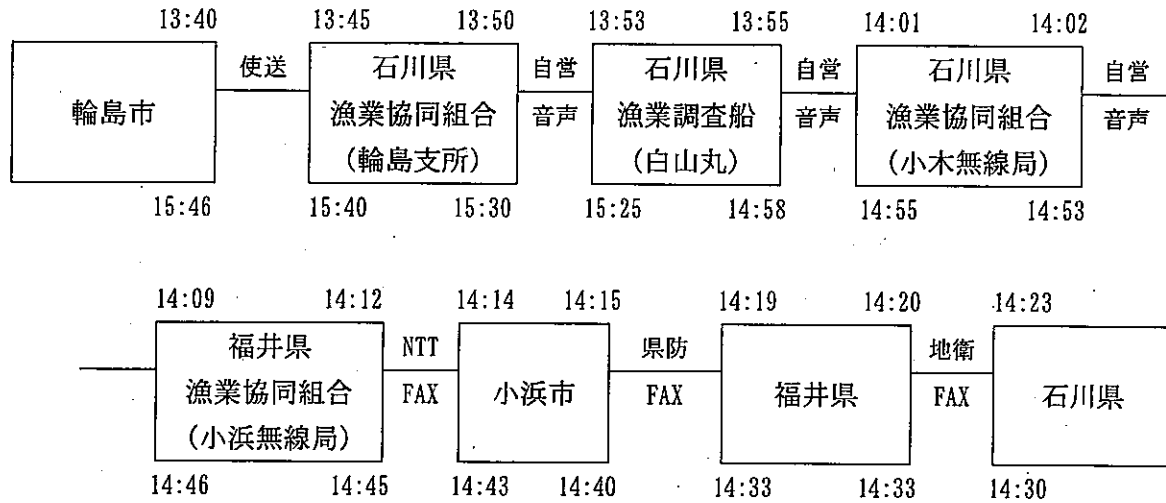
平成27年中

無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数	無 線 局	通信回数
福 井 市	177	福 井 消 防	55	福 井 気 象 台	54
敦 賀 市	99	大 野 消 防	27	鯖 江 自 衛 隊	13
小 浜 市	37	勝 山 消 防	47	舞 鶴 自 衛 隊	14
大 野 市	29	永 平 寺 消 防	17	敦 賀 海 保	15
勝 山 市	68	嶺 北 消 防	70	福 井 海 保	12
鯖 江 市	39	鯖江丹生消防	26	国 出 先 計	108
あ わ ら 市	61	南 越 消 防	79	福 井 駅	3
越 前 市	56	敦賀美方消防	55	N H K 福 井	2
坂 井 市	37	若 狭 消 防	54	福 井 テ レ ビ	3
市 計	603	消 防 計	430	福 井 放 送	2
永 平 寺 町	61	福 井 保 健	198	F M 福 井	9
池 田 町	45	若 狭 保 健	96	日 赤 福 井	16
南 越 前 町	50	二 州 保 健	133	福 井 県 医 師 会	0
越 前 町	50	丹 南 保 健	209	福 井 火 力	7
美 浜 町	80	坂 井 保 健	49	福 井 備 蓄	28
若 狭 町	68	奥 越 保 健	80	公 共 機 関 計	70
お お い 町	22	武 生 保 健	35	原 電 敦 賀	17
高 浜 町	26	衛 生 環 境 セ ン タ ー	1,795	関 電 美 浜	26
町 計	402	県 立 病 院	229	関 電 大 飯	8
市 町 計	1,005	防 災 航 空 隊	80	関 電 高 浜	7
		福 井 港 湾	363	原 子 力 機 構 ふ げ ん	12
		敦 賀 港 湾	1,241	原 子 力 機 構 も ん じ ゅ	20
		福 井 空 港	32	敦 賀 オ フ サ イ ト	0
		県 出 先 計	4,540	美 浜 オ フ サ イ ト	0
				大 飯 オ フ サ イ ト	0
				高 浜 オ フ サ イ ト	0
				原 子 力 発 電 所 等 計	90
				合 計	6,243

5 非常無線通信実施状況

(1) 平成27年度 海上通信を使用した非常通信訓練 (平成27年7月22日)

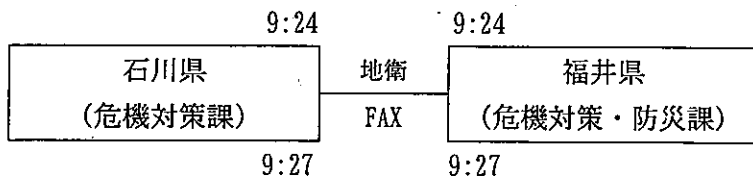
・輪島市から石川県へ、福井県を介して往復信



所要時間 往復信 2時間06分

(2) 平成27年度 石川県防災総合訓練に伴う非常通信訓練 (平成27年9月6日)

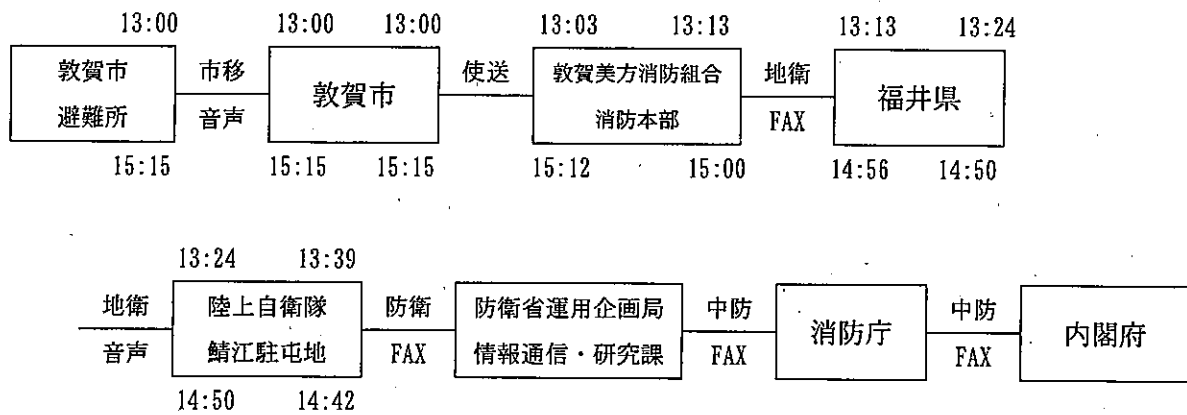
・石川県から福井県あて往復信



所要時間 往復信 3分

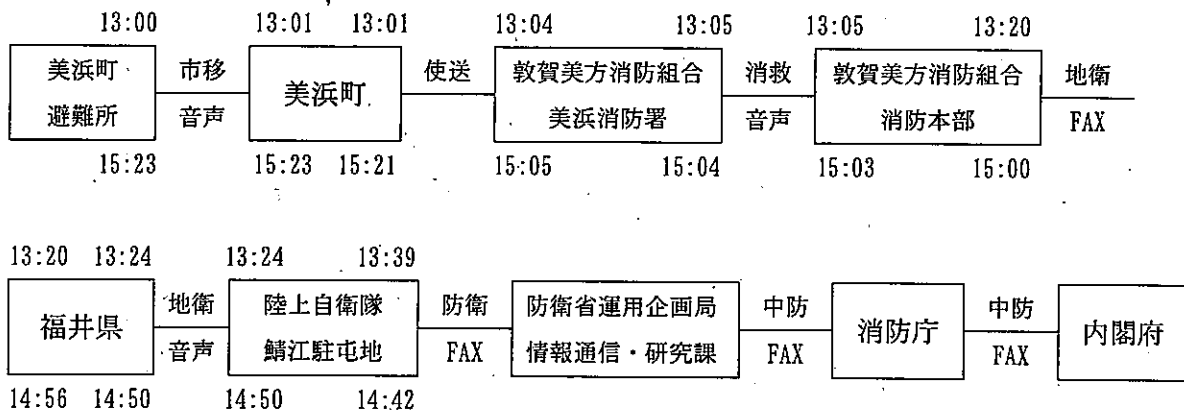
(3) 平成27年度 第78回全国非常通信訓練 (平成27年11月11日)

・敦賀市内避難所から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往復信 2時間15分

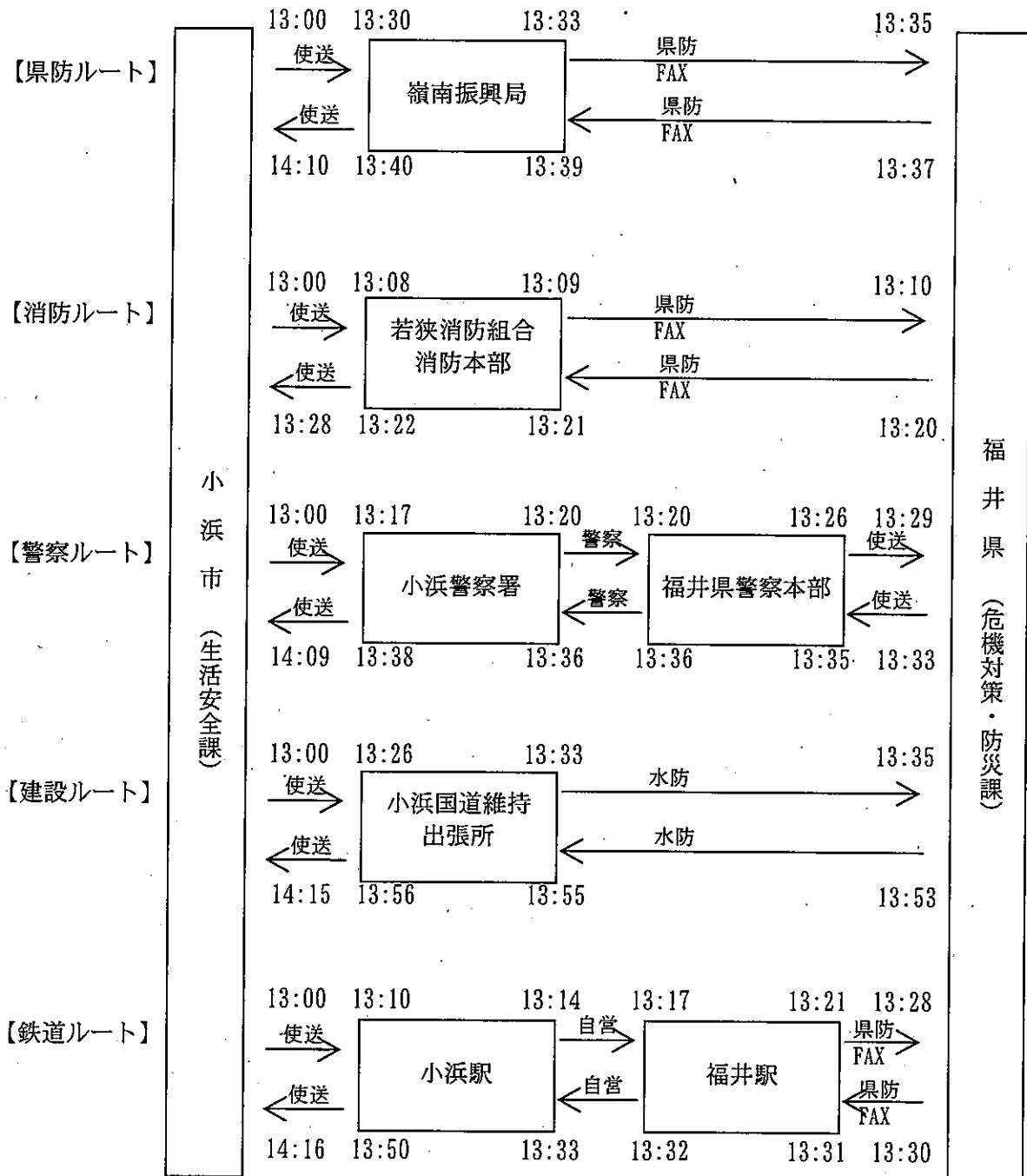
・美浜町内避難所から福井県あて、福井県から内閣府へ往復信



所要時間 往復信 2時間23分

(4) 平成27年度福井県総合防災訓練に伴う非常通信訓練 (平成27年8月31日)

・小浜市から福井県あて往復信 (複数ルートを使用)



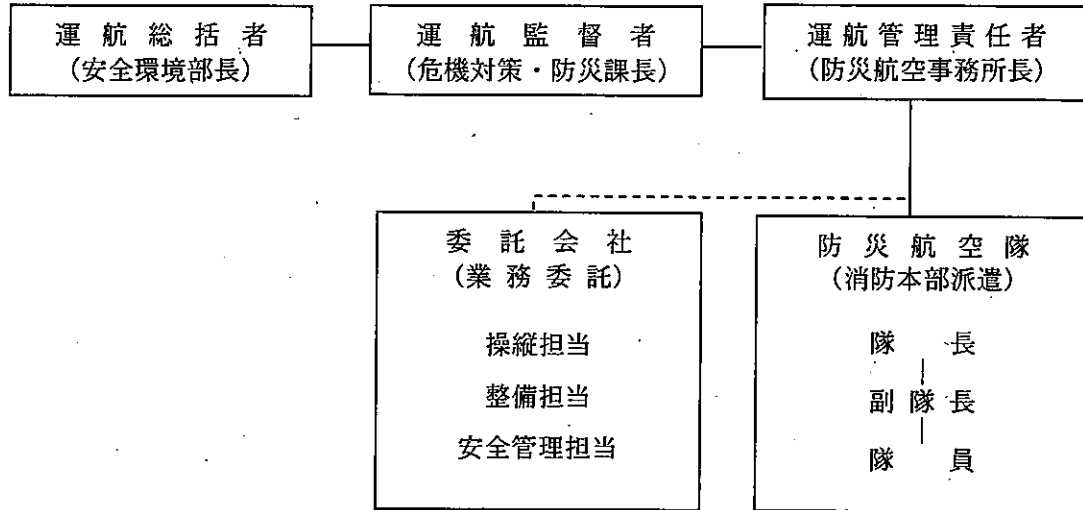
所要時間 往復信 28分 (最短)
1時間16分 (最長)

第5章 防災ヘリコプターの運航体制

1 運航基地

福井県防災航空事務所（福井空港内）

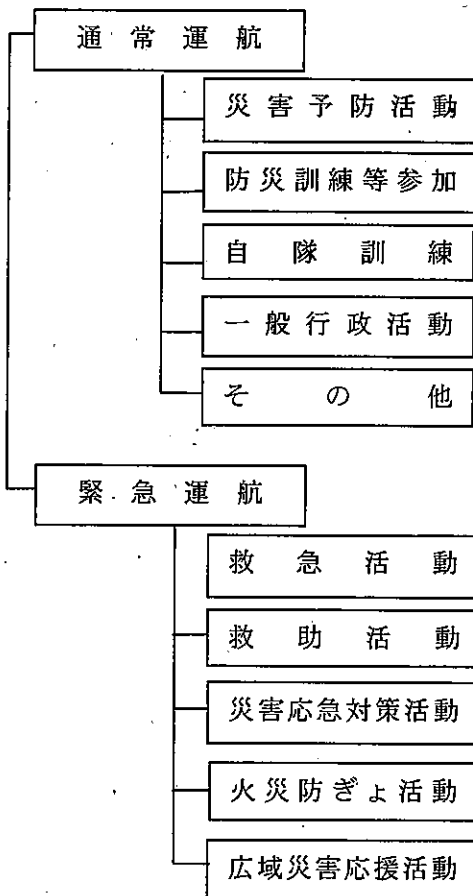
2 組織図



3 運航時間

毎日、午前8時30分から午後5時15分まで
 (ただし、緊急運航の場合は日の出から日没まで)

4 活動業務



Blue Arrow 主要性能

機種	川崎BK117C-2
メーカー（製造国）	川崎重工業（日本）
エンジン最大出力	1,384SHP
エンジン基数	2基
搭乗人員	11人
最大全備重量	3,585kg
最大搭載可能重量	1,715kg
航続距離	685km
ホイスト装置	270kg
貨物吊り下げ装置	1,500kg
全長	13.03m
全高	3.95m
最大速度	278km/h
航続時間	約3.5h
着陸方式	スキッド式

第1表 福井県防災ヘリコプター運航実績表（年度別）

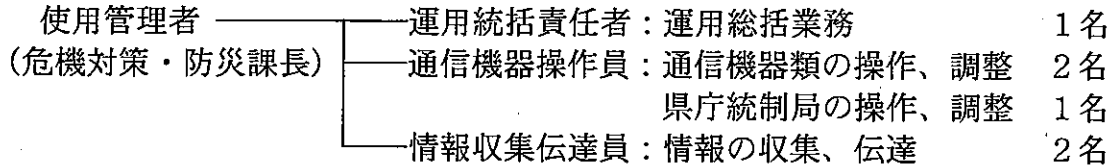
区分	緊急運航					通常運航							合計	
	救急	救助	災害応急	火災防御	広域災害応援	計	自隊訓練	防災訓練参加	災害予防活動 危険箇所調査	災害予防活動 災害予防広報	一般行政	整備		その他
平成16年度	件数 32 時間 23:17	32 36:59	5 13:00	5 5:27	9 19:22	83 98:05	91 109:25	44 38:15	7 9:23	2 6:12	7 10:05	7 10:20	3 2:02	244 283:47
平成17年度	件数 36 時間 27:24	27 18:46		4 4:09	8 11:19	75 61:38	98 135:21	38 30:20		6 11:30	11 13:07	5 7:40	2 1:26	235 261:02
平成18年度	件数 35 時間 25:00	26 27:31	4 3:26		1 1:08	66 57:05	96 131:13	43 37:04		3 5:00	16 19:28	6 2:09	3 2:19	233 254:18
平成19年度	件数 36 時間 18:15	37 40:29		3 8:27	2 1:02	78 68:13	107 148:44	60 58:03		3 11:15	9 7:32	19 18:04	6 5:17	282 317:08
平成20年度	件数 34 時間 30:41	27 19:05			7 7:30	68 57:16	96 122:16	48 39:54		3 11:17	7 6:22	12 9:36	12 14:09	246 260:50
平成21年度	件数 21 時間 7:36	28 23:32		3 1:01	15 31:21	67 63:30	82 127:17	45 34:06		3 10:49	4 3:17	10 10:03	4 4:42	215 253:44
平成22年度	件数 22 時間 9:31	26 19:26			15 21:26	63 50:23	128 162:56	40 30:53		4 10:24	3 4:57	4 7:21	3 2:46	245 269:40
平成23年度	件数 25 時間 10:01	26 10:46	4 4:03	1 3:19	6 11:09	62 39:18	125 151:46	39 29:10		4 16:10	4 5:08	3 5:23	4 3:31	241 250:26
平成24年度	件数 25 時間 13:51	24 18:31		1 0:52	11 13:25	61 46:39	162 183:11	39 27:30		3 11:08	1 1:40	5 7:41	5 2:03	276 279:52
平成25年度	件数 29 時間 15:24	23 19:33	9 13:12		12 13:28	73 61:37	158 184:16	33 21:18		3 11:11	1 1:40	5 5:54	4 4:05	277 290:01
平成26年度	件数 28 時間 12:35	29 20:32			12 12:35	69 45:42	139 146:21	33 26:36	1 1:43	3 11:43	4 2:16	8 8:02	8 5:26	265 247:49
平成27年度	件数 36 時間 19:30	36 26:08			6 9:38	78 55:16	162 174:09	40 25:37			2 2:24	6 4:16	3 2:37	291 264:19

※年間の飛行時間は300時間が限度であるが、耐空検査を年度中に実施しているため、年度合計は300時間を超える場合がある

第6章 衛星車載局の運用体制

1 収 容
福井県消防学校内

2 運用組織図



3 運 用

<非常時の運用>

災害発生もしくは発生する恐れがあるときに、災害の予防、被災後の救助および復旧などの災害対策等に必要な情報の収集・伝達を行う。

<平常時の運用>

業務、事業、イベント等の紹介を行う。

非常時および平常時とも映像情報の伝送を可能としていることにより、より詳細な状況の把握、広報等が可能である。

4 主な仕様

<アンテナ装置>

反射鏡部	オフセットパラボラ	有効開口径 1.8m
駆動部	電動/手動	
衛星捕捉	GPS等各種センサーおよび送受信装置受信偏波特性比較機による完全自動衛星捕捉が可能	

<送受信装置>

画像系電力増幅部	飽和最大出力	300W以上 (TWT)
個別通信系電力増幅部	飽和最大出力	40W以上 (SSPA)

<端局装置>

実装チャンネル数	個別最大通信回線用	4CH
	デジタル画像送信用	1CH
	デジタル画像受信用	1CH
	デジタル画像(準動画)用	1CH
デジタル画像変復調部	動 画：6 Mbps	
	準動画：64 kbps / 384 kbps 切替可能	

<その他端末装置>

全県移動車載型無線装置	260MHz デジタル通信 複信方式
衛星自動車電話	衛星携帯・自動車電話対応
簡易画像伝送装置	50GHz 帯回線構成での画像伝送